

I. 課題名

線路高架下にある
シェアードオフィスのインテリア

II. 設計条件

1. 計画目的

都市部の線路高架下の空間を利用してつくる若手プロダクトデザイナー達のためのシェアードオフィス(この計画では特定の5社が会議室等を共用するオフィスである。そこを利用する若手プロダクトデザイナーが、立地条件等の利便性が高い場所で働きながら、お互いの交流も図ることができるインテリアの計画をする。

2. 周辺状況及び建築物の概要(図-1~3)

- 周辺状況
 - 敷地は、線路高架下の未利用地であり、都市部の駅から近い、店舗や集合住宅が混在する地区にある。
- 建築物の概要
 - 構造、階数 —— 鉄骨造、平家建て
(高架の構造は、鉄筋コンクリート造とする。)

3. シェアードオフィスの概要

- このシェアードオフィスは、賃貸契約をした5社のみが利用するオフィスである。
- シェアードオフィスには、共用する多目的ラウンジ・会議室等のほか、5社が個別に利用する専用のワークスペースがある。

4. 設計対象範囲(図-1~3)

- 設計対象範囲は、平家部分(床面積約207m²)である。
- 主な出入口は、西側又は北側に1箇所設ける。
- 所要スペース・室は、下表のとおりとする。

所要スペース・室	特記事項
専用エリア	<ul style="list-style-type: none"> 専用のワークスペースを5つ設ける。 1社当たり10m²程度のスペース(個室でもブースでも可)とする。 各スペースにはデスク及び椅子を2組設ける。 各スペースには書籍棚を設ける。
エントランス	<ul style="list-style-type: none"> 受付のための内線電話を設ける。
多目的ラウンジ	<ul style="list-style-type: none"> 打合せやプレゼンテーションを行う。 デザイナーが休憩や食事等に利用し、月1回程度、地域住民を対象としたワークショップ等のイベントにも使用する。 テーブル及び椅子を16席程度設ける。 プロジェクター用のスクリーン60インチ(W1,500mm×D30mm×H900mm)を設ける。 対面式のキッチンを設ける。 食器棚及び冷蔵庫を設ける。 雑誌コーナーを設ける。
会議室	<ul style="list-style-type: none"> 会議や商談等を行う。 8人用テーブル及び椅子を1組設ける。
工房	<ul style="list-style-type: none"> デザイナーが試作品や模型等を製作する。 3Dプリンター(3次元の模型製作のためのもの)(W500mm×D600mm×H500mm)を1台設ける。 レーザーカッター(W910mm×D820mm×H400mm)を1台設ける。 作業台(W1,800mm×D900mm×H700mm)を2台設ける。 収納棚(W900mm×D450mm×H1,800mm)を1台設ける。
コピーコーナー	<ul style="list-style-type: none"> コピー機(W650mm×D650mm×H900mm)を1台設ける。 A1プリンター(W1,400mm×D700mm×H1,200mm)を1台設ける。 収納棚(W900mm×D450mm×H1,800mm)を1台設ける。
トイレ	<ul style="list-style-type: none"> 男女各1箇所設ける。
その他必要と思われるスペース・家具は、適宜設けてもよい。	

(4) 床、壁等の設計条件は、下表のとおりとする。

部位	特記事項
床	<ul style="list-style-type: none"> 仕上材は自由に設定できるものとする。
柱及び梁	<ul style="list-style-type: none"> 削除や移動はできない。その位置は、図-1~3に示すとおりである。
壁	<ul style="list-style-type: none"> 外壁: 図-1~3に示す「外壁又は開口部を設定する範囲」内の任意の位置に、外壁又は開口部を設ける。
	<ul style="list-style-type: none"> 間仕切壁: 適宜設けることができる。
天井	<ul style="list-style-type: none"> 適宜設けることができる。

- 空調・換気設備、給排水衛生設備及び電気設備は、自由に設定できるものとする。
- 線路高架の振動対策は、既に施されているものとする。

III. 要求図書

- 設計製図答案用紙(1)、(2)の所定の位置に、下表の要求図書を完成させる。

要求図書	特記事項
平面図兼家具配置図(縮尺1/50)	<ul style="list-style-type: none"> 主要な寸法を記入する。 スペース名又は室名を記入する。 家具、器具等の配置を記入する。 床、壁及び天井の仕上げを記入する。 天井高及び床レベルを記入する。(基準FLを±0とする。)
透視図	<ul style="list-style-type: none"> 多目的ラウンジを含む共用エリアを描く。 家具と人物を描く。 大きさは、W300mm以上、H200mm以上とする。 彩色する。
家具のスケッチ	<ul style="list-style-type: none"> 専用のワークスペース内のデスク及び椅子を描く。 主要な寸法及び仕上げを記入する。
設計主旨	<ul style="list-style-type: none"> 計画上工夫した点を説明する。

- 鉛筆、色鉛筆、製図ペン又はマーカーのいずれれを用いてもよい。
- 図面は、フリーハンドでもよい。
- 寸法単位は、mmとする。

図-1 平面図 縮尺1/100 (下書用)

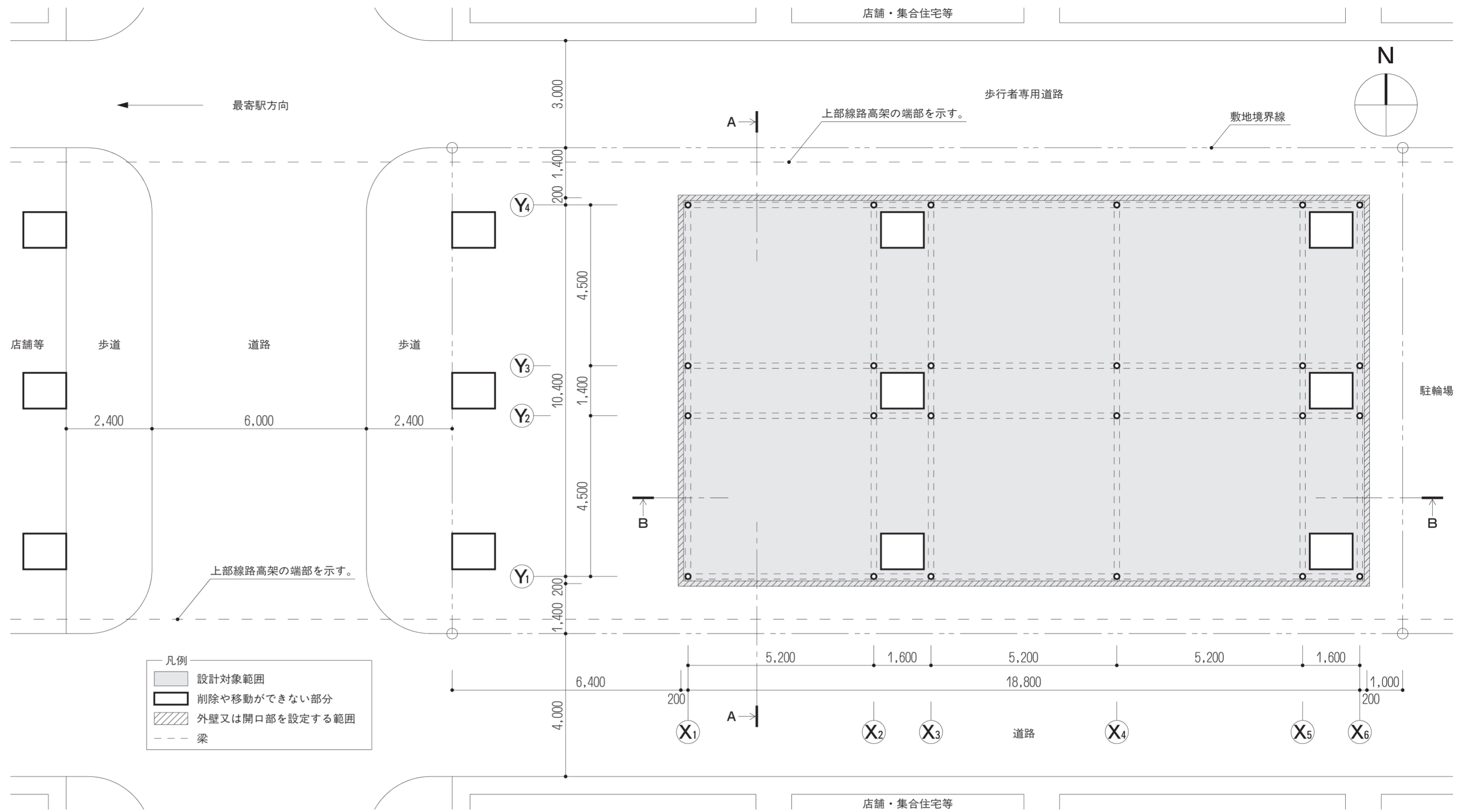


図-2 A-A 断面図 縮尺1/100

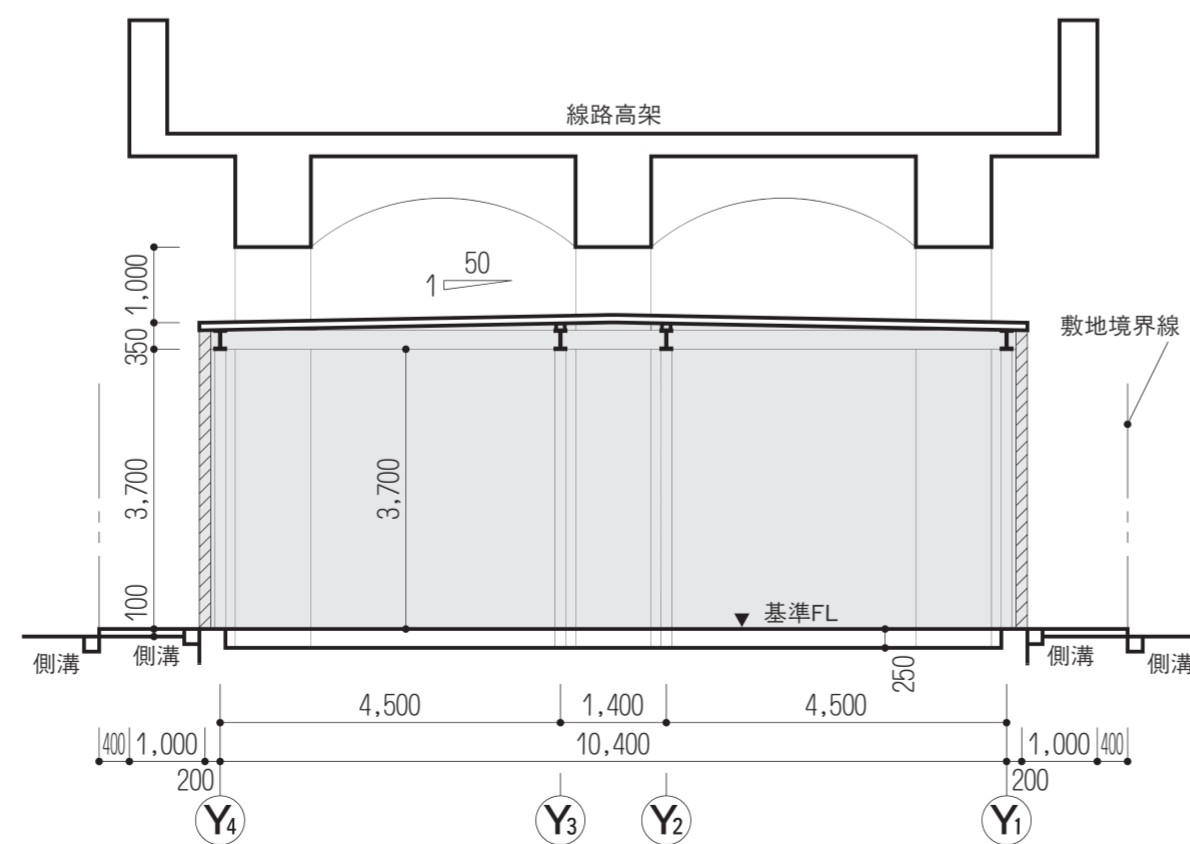
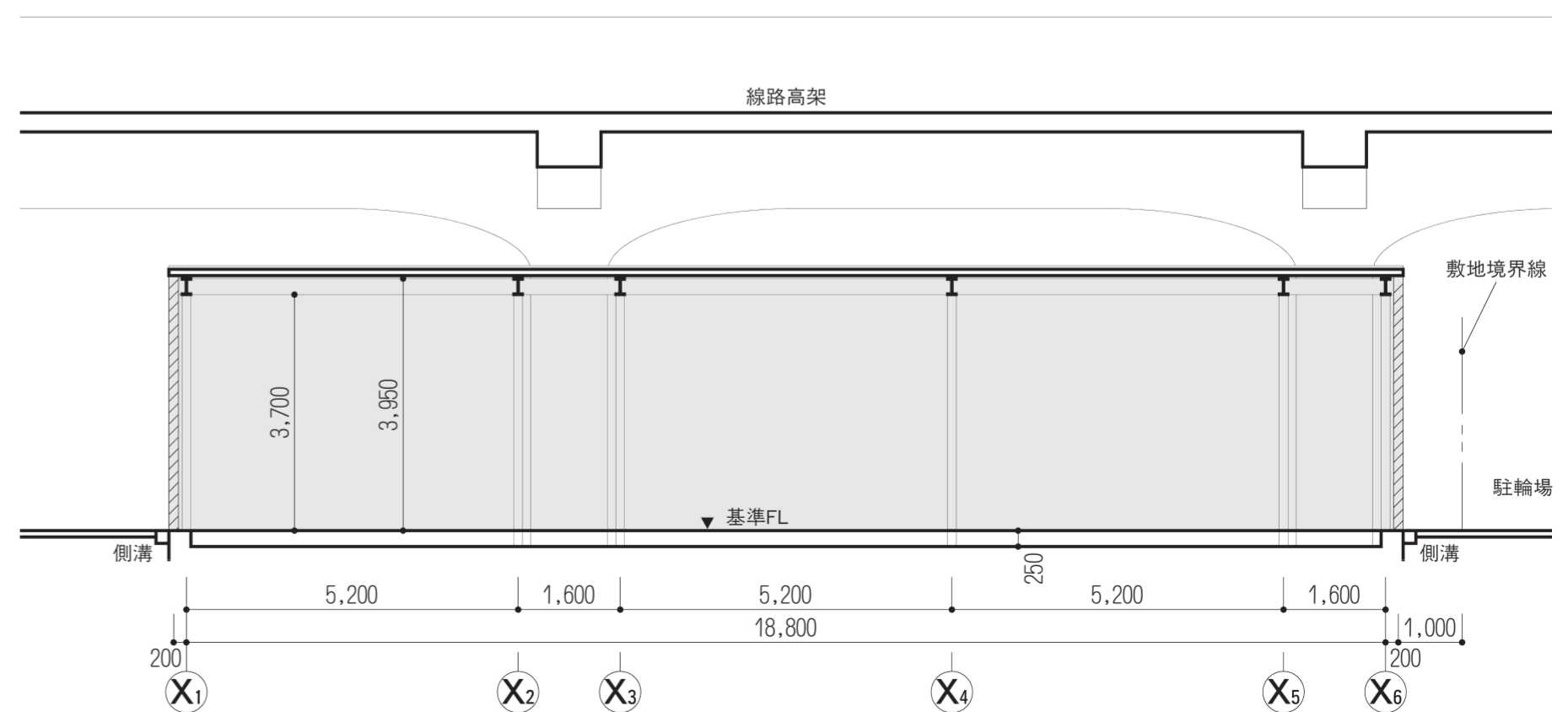


図-3 B-B 断面図 縮尺1/100



INTERIOR PLANNER 平成28年度インテリアプランナー試験
設計製図問題用紙

試験地	受験番号	氏名

この問題用紙については、試験終了まで試験室に在室した者に限り、持ち帰りを認めず(中途退出者については、持ち帰りを禁止します)。